

あなたの
タックス・コンプライアンス、それで十分？

決算書の読み方とタックス

ビジネスパーソンのおきたい決算書の基本

- 日時： ① 2019年5月28日(火) 19:00～20:30
② 2019年6月10日(月) 19:00～20:30
- 場所： CoWORKERS AREA - Lowp - 市ヶ谷駅徒歩5分（下記QR）
- 講師： 武嶋 賢治（武嶋税理士事務所 代表税理士）
- 参加費： 資料代として1,000円（税込）
- お申込： <http://bit.ly/yoru0528>（下記QR）

* ①と②は同じセミナーです。いずれかをお選びください*

* 講師詳細や主催のアコード租税総合研究所については、以下QRコードより*

「決算書」は、企業の実情を映す鏡です。
なにも経営者レベルに限らず、対企業の営業戦略を練る際や転職の際など、
決算書の数値が重要な参考資料となり得ることに異論のある方はいないと思われ
ます。「決算書の見方」といった書籍が巷に溢れているとおり、
決算書を読むということは、ビジネスパーソンにとって必須の能力といえるで
しょう。

終身雇用がなくなりキャリアアップのための転職が当たり前となった今日、
ビジネスパーソンは常に自らを磨き上げていく必要があります。

「エンプロイ・アビリティ-employ ability-」、
すなわち「企業で働く従業員として『雇用されるに等しい能力』」などといった言葉が示すとおり、
「労働市場において自分がどれだけ価値の高い人材であるか」を日々意識していくことが重要です。

さて、ビジネスパーソンが常に意識しなければならないもう一つの視角として、
「コンプライアンス」すなわち「法令遵守」への対応が求められています。
企業の法令遵守に対する世間の視線は昨今ますます厳しくなり、
ビジネスパーソンの“守るべきルール”は日に日に多くなっているでしょう。

そうした、ビジネスパーソンなら必須の法令遵守ですが、
「タックス・コンプライアンス」と真剣に向き合ったことがある方はどれほどいるのでしょうか？
最近、Google、Amazon、Facebook、Appleの頭文字を並べた“GAFA”という言葉を目にしますが、
“GAFA”の国際的税逃れが問題視されているように、ビジネスには税の問題が常につきまといま
す。しかしながら、日本のビジネスパーソンはタックス・コストを知らぬ振りをしている傾向にありま
す。

そうした多くの日本のビジネスパーソンが苦手としている
企業の重要なコストの1つであるタックスを理解していることは、
競合する他者に差を付けることのできる強みとなることでしょう。
ビジネスパーソンに必須の“決算書の読み方”を学ぶことを通じ、タックスを考えてみましょう。



お申込



会場詳細



講師詳細



研究所HP

主催：一般社団法人アコード租税総合研究所

TEL. 042-806-9843 E-mail. honbu@at-i.info <http://accordtax.net/>

当研究所は、酒井克彦（中央大学教授）が所長を務める租税法シンクタンクです。税理士・大学研究者・
行政関係者など、民官学が協調して租税法改正の提言や書籍刊行等を行っています。

* 同業競合他社の方のご参加はお断りしております *